



# 森林を守り育て 未来につなぎます

～森林環境税で森林を守り育てています～

福島県の森林は、県土の約70%を占め、豊かな自然環境と良好な生活環境を  
生み出しています。

この豊かな森林を県民共有の財産として守り育て、次世代に引き継ぐため、  
平成18年度から森林環境税を導入し、「県民一人一人が参画する新たな森林づくり」  
に取り組んでいます。

福 島 県

## 森林には どのような 働きがあるの？

森林には私たちの暮らしを支えてくれる  
たくさんの働きがあります。



例えば、

### ○土砂流出や災害防止の働き

樹木の根や地表を覆う落ち葉や下草により  
降雨などによる土砂の流出を防ぎます

### ○水源のかん養の働き

雨水を貯めることで、洪水や渇水を緩和し、  
水をきれいにします

### ○二酸化炭素の吸収固定の働き

大気中の二酸化炭素を吸収し、幹や根など  
に貯めることで、地球温暖化を防止します

### ○多様な動植物の生息の場の働き

さまざまな動植物の生息場になります

### ○再生産可能な資源、木材の供給の働き

木を植えて育てれば、何度もくりかえし  
て木材を生産し、利用することができます

## なぜ、 「県民一人一人が 参画する新たな森林 づくり」が必要なの？

手入れや利用が行われず放置される森林  
が増えており、森林の恵みを将来にわたつ  
て受け取ることが難しくなってきています。



手入れがされず放置された人工林（ヒノキ林）

そのため、森林を荒廃か  
ら守り、健全な森林が未来  
に引き継いでいくよう、  
森林と人との関わりを私た  
ち一人一人が見つめ直すこ  
とが必要です。



## 森林環境税で何をしているの？

県では、森林環境税を使い、水源の森林が健全になるように手入れをしているほか、森林環境学習やボランティア活動への支援をすることにより、「森林を守り育てる」活動が盛んになる取り組んでいます。



間伐作業



森林ボランティア活動

## 間伐などの手入れはどうして必要なの？

手入れ不足の人工林は、木が混み合って光が入らない暗い森になります。木が混み合うと、木が太れないばかりか木の根も十分に張れません。また、光が入らないと、下草やかん木なども生えなくなります。そうなると森林の表土や養分が雨により流れやすくなることから、水を蓄える働きが失われ、地下水や沢水が少なくなることが心配されます。

森林のもつ働きを回復させて、木の健全な生長や森林の保水力を助ける間伐は必要不可欠な作業なのです。

間伐がされない人工林



林内が暗く、下草が生えない急な山では、雨による土砂の流出が進み、水源としての働きの低下や災害の発生が心配されます。

間伐された人工林

(森林整備事業実施森林)



林内が明るくなり、下草やかん木が繁り、水源としての働きや災害防止の働きも高まります。

# 森林環境税を活用して、様々な事業を行っています。

森林環境税は、他の財源と明確に区分するため、「森林環境基金」に積み立てています。

この基金を大切に使うため、公募などの方々による第3者機関「森林の未来を考える懇談会」で各事業の意見と評価をいただいている。

森林環境税の使いみちについては、「森林環境の保全」と「森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成」の2つの目的のもと、県が直接実施する事業と全国に先駆けて創設した市町村への交付金事業があります。



地元の木や薪等材を活用した花壇に立った木を育む子どもたち  
南相馬市・かしま保護園

（写真提供：福島民報社）

## 県内各地事業活発化に

県森林環境税2年目

森林環境税を活用して、森林の保全や森林資源の利用促進などの事業を行っている。また、森林環境税の「森林の未来を考える懇談会」では、森林の保全と森林資源の利用促進の意見交換が行われた。南相馬市では、森林整備や植栽などの事業が実施された。

（写真提供：福島民報社）

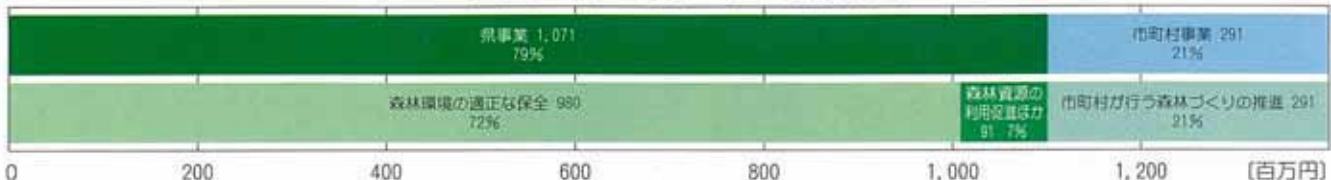
（写真提供：福島民報社）

## 平成20年度森林環境基金事業の枠組み（当初予算）



（ ）はH19年度当初

## 県事業と市町村事業の予算割合



## I 森林環境の適正な保全

森林整備事業

手入れが行われず荒廃の恐れがある水源区域の森林を県が森林所有者に代わって整備しており、平成22年度までに合計9,000haの整備を目指しています。

また、平成19年度からは、私有林への補助制度を創設しました。

- ・平成18年度 県営700ha実施
  - ・平成19年度 県営2,000ha+補助1,550ha予定

さらに、平成20年度からは県の事業と一体的に整備すべき市町村有林等についても補助対象としています。



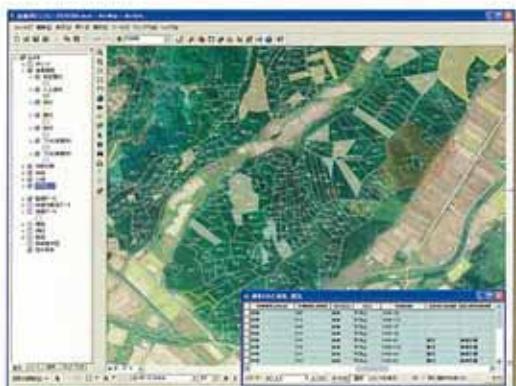
森林整備事業審査森林

平成22年度までに県が行う森林整備の計画面積9,000haは、

**福島空港 約50個分**

ああむね猪苗代湖の面積と同じくらいです。

#### ○ 森林環境適正管理事業



#### 森林G I Sの画面イメージ

森林・林業施策に関する地図や台帳情報の一元管理により、情報の共有化や高度利用を進めるため、森林GIS（地理情報システム）を構築しています。

平成21年度からは、インターネットにより、森林GISをベースとして、緑の文化財などの森林情報をはじめ、皆さんから投稿していただく現地情報も併せて発信していくこととしています。

「皆さんからのたくさんの投稿をお待ちしています！」

県は、地球温暖化防止に、林整備に取り組む。六日の事業費を確保しているが、つながる森林整備を促進するため、十一月県議会に提出する補正予算案に新たに五億円を組み、事業費を計った。  
県は本年度の当初予算策を推進するため、整備面で、温帯化ガス吸収林整備として約一千七百七十㌶の森林整備とし、県内水循地域の民有林が中心だが、県内全域で事業を実施する。政府は、中間評定を実施する。県は、この評定結果を受け、国際的に認められる温暖化ガス排出削減目標達成率を6%削減する方針である。

以外も加えます。水素供給

地域の森林整備について新たに地球温暖化防止対策の視点を加え、来年度から整備面積を拡大する意向を示していた。今回はこの事業を前倒しして実施する。

## II 森林資源の利用促進

## ○ 間伐材搬出支援事業

間伐した木材を有効に利用するため、搬出に必要な作業路の整備や原木市場等への運搬を支援しています。

- ・平成18年度 作業路を12km整備、間伐した木材を17km<sup>3</sup>搬出
  - ・平成19年度 作業路を72km整備、間伐した木材を25km<sup>3</sup>搬出予定



## 間伐材の搬出 いわき市



作業路開設 田村市

## ○ 間伐材利用促進事業

間伐された木材が無駄なく利用されるよう、県有施設の内装などに率先して利用するとともに、ペレットストーブの導入を進めています。

- ・平成18年度 太陽の国さつき荘の内装木質化、県農業総合センターでの間伐材PRモデル常設展示、県民ホールなどへベレットストーブを10台設置。
  - ・平成19年度 猪苗代湖長浜駐車場のあづまや建設、県立高校などへベレットストーブを15台設置予定。

また、平成19年度から県立図書館や駅などへのベンチ等木製品の設置(11箇所)、個人の方のペレットストーブ導入(50台)への支援を始めています。



内装の木質化



## 農業・県民ホールにペレットストーブ



間伐材PRモデル展示  
農業総合センター

### III 県民参画の推進

#### ○ 森林環境學習推進事業

各流域(会津、阿武隈川、奥久慈、磐城)の森林環境に根ざした講義や森林整備体験等を行う森林環境ゼミナールを開催するとともに、森林環境学習に活用するための森林整備を行っています。

- ・平成18年度 森林環境ゼミナール参加者延べ530人、森林環境学習の森整備(翁島県有林など2箇所)、森林ボランティア活動フィールド設定14箇所。
  - ・平成19年度 森林環境ゼミナール参加者延べ413人、森林環境学習の森整備(村火県有林など2箇所)、学校林森林環境学習の森整備(田島高校など2箇所)予定。



森林環境ゼミナール 昭和の森



森林環境ゼミナール 棚倉町

## ○ 森林ボランティア総合対策事業

森林づくり活動の広報、森林ボランティアに関する情報収集・提供、相談窓口業務等を行う森林ボランティアサポートセンターを県民の森内に設置し、森林づくりを先導するボランティア団体の活動を支援しています。

- ・平成18年度 森林ボランティアサポートセンターの設置、森林づくり活動発表交流会(参加者186人)の支援、森林ボランティア団体への支援(18団体、19件)。
  - ・平成19年度 森林ボランティアサポートセンターからの情報発信、森林づくり活動発表交流会(参加者120人)の支援、森林ボランティア団体への支援(19団体)。

また、平成19年度から、企業の森林づくりへの意向調査など、環境貢献企業活動への支援を進めています。

※ 森林林環境教育の講師派遣及び森林ボランティア活動に関するお問い合わせについては、森林ボランティアサポートセンターを御利用ください！

福島民友新聞社提供 H19.11.25

森林ボランティアサポートセンターのホームページ  
URL <http://www.f-vfsc.com/index.html>  
TEL 0243-48-2040

6団体が活動報告

## ○ もりの案内人等指導者養成事業

森林の役割や大切さを皆さんに伝える「もりの案内人」の養成講座や森林環境学習の指導者のスキルアップ研修を開催するとともに、森林ボランティアのリーダーを養成しています。

- ・平成18年度 もりの案内人認定者26人、森林環境学習指導者育成参加者43人、森林ボランティアリーダー育成講座研修終了者22人。
- ・平成19年度 もりの案内人認定者32人(延べ343人)、森林環境学習指導者育成参加者20人、森林ボランティアリーダー育成講座研修終了者19人(延べ41人)。



指導者の養成 県民の森



もりの案内人の活動 県民の森



大玉「県民の森」で交付式  
森づくりの自然学習や  
指導者の県  
「もりの案内人」の認定書  
交付式は十  
日、大玉村のふくしま県民  
の森・フォレ  
ストパークあ  
だらで行わ  
れ、二十六人  
が認定を受け  
た。佐藤雄平知  
つた。

認定者は昨年六月から  
今年一月まで、五期十五  
日間にわたり自然観察や  
野外活動、森林保全など  
森林環境税を財源とした  
養成講座を受講した。平  
成九年から毎年養成して  
いるもりの案内人は、今  
回を含め三百十一人とな  
った。

## もりの案内人に26人

大玉「県民の森」で交付式

事が「指導者としての知識と技術を生かし、森林共生の大切さを多くの人に伝えてほしい」とあります。一人一人に認定書を手渡した。認定者代表の中畠満さん(泉崎村)が今後の活動への決意を述べた。

福島民報社提供 H19.3.11

## ○ みんなで育てる海辺の松林整備事業

ふるさとの海岸松林を大切にする愛着心等を育むため、地域の方々やボランティア団体と一緒に森林環境学習会や海岸沿いの保安林における作業体験を実施しました。(平成19年度終了)

- ・平成18年度 計4回実施、参加者延べ55人。
- ・平成19年度 計4回実施、参加者延べ60人。



クロマツの植栽 南相馬市



侵入防止柵の設置 いわき市

## ○ 県立学校における森林環境学習推進事業

木炭づくりや野外観察などの体験的な森林環境学習を実施しています。

- ・平成18年度 会津農林高校、岩瀬農業高校
  - ・平成19年度 会津農林高校、岩瀬農業高校、福島西高校



木炭づくり 会津農林高校



古漢集編

題の森林環境教育を活用し、森林環境教育を推進しようのテーマで植物の垂直分布研究と観察委員会が主導しながらについて学び、自然へつながる学校の主体的な計画に理解を深めな

福島民友新聞社提供 H19.8.6

## 本県の森林環境に理解

福島西高生が野外観察や講義  
本年度の森林開拓教育公支による森林開拓教育の取り組み

9-8-6

## IV 森林文化の復興

#### ○ ふくしまの森林文化復興事業

森林と人との関係を見直し、森林づくりの意識を高めていくため、地域に根ざした森林文化を調査し、その結果を基に情報発信を行っています。

- ・平成18年度 県内の森林文化の情報収集4千件
  - ・平成19年度 県内の森林文化の情報収集20千件を予定、ふくしま森林文化フォーラムを開催 参加者170人



ふくしま森林文化フォーラム 福島市

本県の森野面積は全体の70%強もあり、平成十八年度から森林環境税が導入された。予算は約十億円で、そのうち20%は市町村への交付金という。森野行政はいろいろな観点から厳しさがあるが、この税金の予算によって森野振興に大いに寄与できることを期待している。

「コーディネーターは県立博物館長の赤坂憲雄氏が務めた。パネリストらは「森と付き合っていかななければならぬ」と訴えていた。

税)がスタートしたことを  
知った。

文化センターで行われた「考え方みんなの懇親会」に参加したとき、パンフレットが置いてあり、この趣しを知った。また、この資料で本県でも「森林環境税」がスタートしたことを見ついた。

福島民報社提供 H20.2.8

フォーラム出席  
森野振興を願う

マにパネルディスカッションが行われた。南会津地域の国有林は、白神山地よりも広い面積を持つアメの生息地という説明があった。フィルムで見たテナの四季の移り変わりは自然そのもので、遠い昔から人間に山菜やキノコなどの山の幸を味わうものである。

この晴らしい土地の移り変わりは自然そのもので、遠い昔から人間に山菜やキノコなどの山の幸を味わうものである。

また、水も自然から里へと流れこんだ。

福島民報社提供 H20.2.1

8

## 温暖化防止の視点も

森林環境税の活用方法  
を協議している県の  
外部組織「森林（もり）」  
は十七日、県庁で開いた  
今年度第四回会合で、同  
時に「地球温暖化防止対  
策」の視点を盛り込むこ  
とを正式決定した。水  
源地域の保全」のみだっ  
た森林整備の目的に加  
え、計画整備面積を拡充  
していく考えだ。

平成二十一年度までに  
九千haを整備する現計画  
に対し、県は整備面積を  
倍増以上にすることを検  
討している。すでに県は、  
年度から実行することとし  
ていたが、今年度内に前  
年度交付金事業（地域提  
案重点枠）に、四十四市  
町村から五百件の要望が  
寄せられていることが報  
告された。森林整備や間  
伐材利用、木質バイオマ  
ス推進などで、要望額  
は二億三千二百四十八万八  
千円に上っている。審査  
して採択事業を選ぶ。

## 森林環境税 県の懇談会が決定

### ○ 森林整備効果実証事業



森林整備による効果を確認するため  
に水環境の変化など、森林づくりをす  
すめるための調査研究を行っています。

間伐による水の流れの変化について調査  
二本松市

## VI 森林環境基金の運営

### ○ 森林環境基金運営事業

森林環境税による森林づくりについて、パンフレットやホームページによる広報、フォーラムの開催等を行っています。

また、第3者機関「森林の未来を考える懇談会」を開催し、森林環境基金事業についての御意見をいただいている。

- 平成18年度 森林環境フォーラム開催、参加者200人
- 平成19年度 水源区域の森林整備交流会開催、7地区参加者延べ311人



福島民報社提供 H19.12.19

森林の未来を考える懇談会

## 森林環境税の納税方法

森林環境税は、県民税均等割に加算する方法により  
納めていただきます。

### ○個人(県内に住所、家屋敷等を有する方)

税率:年額 1,000円

※ 前年の合計所得が一定の金額以下等により、県民税均等割が課税されていない方は非課税となります。

【Q】 森林環境税では、個人がある法人等に対し て、平成十八年四月一日以降に課税される場合 の額に応じて、法人等が負担する 税額が増額されるたとえば、個人の場合は、 個人の申告書の提出によって、個人の申告書 が提出されたのですね。	【A】 森林環境税では、個人がある法人等に対し て、平成十八年四月一日以降に課税される場合 の額に応じて、法人等が負担する 税額が増額されるたとえば、個人の場合は、 個人の申告書の提出によって、個人の申告書 が提出されたのですね。
新たに森林環境税導入 による税額が増額され ます。森林環境税の導入 は、森林資源の保護と 森林の育成、森林の整備 などの森林政策の実現 に寄与するためです。 森林環境税は、森林資源 の保護と森林の整備 などの森林政策の実現 に寄与するためです。 森林環境税は、森林資源 の保護と森林の整備 などの森林政策の実現 に寄与するためです。	新たに森林環境税導入 による税額が増額され ます。森林環境税の導入 は、森林資源の保護と 森林の育成、森林の整備 などの森林政策の実現 に寄与するためです。 森林環境税は、森林資源 の保護と森林の整備 などの森林政策の実現 に寄与するためです。 森林環境税は、森林資源 の保護と森林の整備 などの森林政策の実現 に寄与するためです。

### ○法人(県内に事務所等を有する法人等)

税率:年額

県民法人税均等割額の10%相当額

資本等の金額	年税額
50億円超	80,000円
10億円超~50億円以下	54,000円
1億円超~10億円以下	13,000円
1千万円超~1億円以下	5,000円
上記以外の法人等	2,000円

福島民報社提供 H19.5.18

## VII 市町村が行う森林づくりの推進

### ○ 森林環境交付金事業

市町村が独自性を發揮し、創意工夫をこらした森林づくりが展開できるよう、森林環境基金の一部を市町村へ交付する、全国で初めての制度です。

交付金には、ソフト事業を対象とする森林環境基本枠と地域提案重点枠の2つがあります。

#### 森林環境基本枠

#### 森林づくりの意識を醸成するための事業

小中学校での森林環境学習の取り組み校は、平成18年度で全体の47%（377校）、平成19年度は486校で全体の60%を超える予定です。

#### 地域提案重点枠

#### 森林環境を保全するための事業

平成19年度までに53市町村が、里山の整備、間伐した木材の利用、ペレットストーブの導入などの事業を行いながら、地域の皆さんによる森林づくりを進めています。



森林環境教育の実施 喜多方市



森林の整備 福島市



間伐材による公共施設の内装木質化 会津坂下町



ペレットストーブの導入 いわき市

少  
「喜多方市立喜多方二  
24日、喜多方市の中  
山森林公園で森林教室が  
開かれました。4年生の

### 森の中で感動発見

4年生が森林教室



森林について学ぶ喜多方二小の児童ら

た。  
全児  
萬73人

が参  
加しま  
し

た。

教  
育

森林教室では「もりの案内人」の先生2人に、ちどいっしょに、ドングルも見つけることができます。森の中歩きながら樹木の名前や植物の見分け方などを教えてもらいました。近くにこんなにすばらしい自然があることを

かヶスという鳥の鳴き声が響く森の中は空気が澄んでいて、とても気持ちいい体験ができました。近づいてみると案内人の先生2人に、ちどいっしょに、ドングルも見つけることができます。森の中歩きながら樹木の名前や植物の見分け方などを教えてもらいました。近くにこんなにすばらしい自然があることを

あらためて知り感動しました。（4年・佐瀬公規記者）

里山の整備完了  
今後は地区民で

中島村・山田  
（無職）  
80

森林環境税が導入され早

々に昨年、里山整備促進事

業実施協力の依頼があり、

里山が荒れているので区長

と相談して速やかに協定を

結んだ。一月上旬業者が入

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も

りたまち下刈り、間伐、

枝払いと二日間できれい

な里山になった。

昔なら地区の共同奉仕

作業で地区民がきれいに下

刈りから除伐をして薪材

をもは「かけば」用に短

いものは「かけば」の足

本に使用されたが、現在は

農作業の変化で長材などほ

必要とせず、燃料としても

使用しないので個人の山も  
りたまち下刈り、間伐、  
枝払いと二日間できれい  
な里山になった。

福島民報社提供 H20.3.5

福島民報社提供 H19.10.28

# 森林文化のくに・ふくしま県民憲章

## (前文)

ふくしまには豊かな森林、そして清流、湖沼、海、澄んだ空があります。

私たちは、遠い祖先のころから、森林に育まれた多くのいのちの一員として生きてきました。そして、森林に感謝し、畏れ敬い、多彩な森林文化を育みながら、人や物を大切にする優しい心も深めてきました。

しかし、ときにこの感謝や畏れ敬う気持ちを忘れ、母なる森林やそこに棲む多くのいのちを傷つけることもしました。

今、私たちは、ふくしまの森林が未来も豊かであり続けるよう守り育て、その心を次世代に引き継ぐ責務があると考えます。

そのためには、私たち一人一人が、森林の恵みにより生活が支えられていることを理解し、森林づくりの大切さを考え、今できる身近なことから行動することが大切です。

私たち一人一人は、ここに、豊かな森林文化のくに・ふくしまを創ることを誓い、この憲章を制定します。

## (本文) わたしたちは、

- 1 森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます。
- 2 森林にふれあい、心豊かに生きます。
- 3 森林の恵みに感謝し、活かします。
- 4 森林を守り育て、未来につなぎます。

福島県は、豊かな森林を守り育て、健全な状態で次の世代に引き継いでいくため、「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を平成17年11月20日に制定しました。

## 【お問い合わせ先】

### ■ 税の使いみちについて

#### 福島県農林水産部森林計画課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16  
電話 024-521-7425  
HP [http://www.pref.fukushima.jp/forest\\_c/](http://www.pref.fukushima.jp/forest_c/)

### ■ 税の仕組みについて

#### 福島県総務部税務課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16  
電話 024-521-7069  
HP <http://www.pref.fukushima.jp/zeimu/>

## 〔各事業及び森林環境学習の進め方や森林ボランティアへの支援に関する問い合わせについて〕

### 県北農林事務所森林林業部

〒960-8065  
福島市杉妻町5-75  
電話 024-521-7708

### 県中農林事務所森林林業部

〒963-8540  
郡山市麗山1-1-1  
電話 024-935-1367

### 県南農林事務所森林林業部

〒963-6123  
白川郡棚倉町大字間口字上至宝50-1  
電話 0247-33-2121

### 会津農林事務所森林林業部

〒966-0901  
喜多方市松山町鳥見山字下天神6-3  
電話 0241-24-5734

### 南会津農林事務所森林林業部

〒967-0004  
南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1  
電話 0241-62-5373

### 相双農林事務所森林林業部

〒975-0031  
南相馬市原町区錦町1-30  
電話 0244-26-1173

### 相双農林事務所富岡林業指導所

〒979-1111  
双葉郡富岡町小浜553番地の2  
電話 0240-22-5111

### いわき農林事務所森林林業部

〒970-8026  
いわき市平字梅本15  
電話 0246-24-6193